

立正大学様

VSR1000シリーズ	ファイアウォール	IDS/ADS
ホットスタンバイ	拠点間VPN	パリオウェブ
パリオメール	パリオアンチスパム	ウイルスプロテクション

■立正大学について

立正大学の「立正」とは、日蓮聖人の「立正安国論」に由来し、立正の精神に学ぶ事を建学の理念としています。1580年に設立された日蓮宗僧侶の教育機関を淵源とし、420年という長い伝統を誇る大学で、平成21年5月1日現在の学生数統括は11,089人にも及ぶ総合大学へと発展しています。

立正大学では、「モラリスト×エキスパート」をブランドビジョンとして掲げ、社会を良くする原動力となり得る人材の輩出に主眼を置いています。

立正の精神に学ぶ事を建学の理念とし、精神は次の三つの誓いに現されています。

1. 真実を求め至誠を奉げよう
2. 正義を尊び邪悪を除こう
3. 和平を願い人類に尽くそう

8学部・14学科・7研究科・9研究所を擁する総合大学に成長した今日においても、立正精神の体得と、時代に適応した知識と技術の習得により、人類社会に大きく寄与することを目標としています。

立正大学概要

名称	学校法人立正大学学園
創設	1580年(天正8年)日蓮宗の教育・研究機関として飯高檀林を創設
設立	1872年(明治5年)飯高檀林を廃し、東京芝二本榎に宗教院を設立
教員数	297名(2009年5月1日現在)
職員数	228名(2009年5月1日現在)
所在地	大崎キャンパス 東京都品川区大崎4-2-16 熊谷キャンパス 埼玉県熊谷市万吉1700 【学部】法学部・社会福祉学部・地球環境科学部 【大学院】法学研究科・経済学研究科・経営学研究科・心理学研究科
URL	http://www.ris.ac.jp



立正大学

立正大学は学園振興政策プロジェクト会議要領を制定(平成16年2月25日一部改正)し、大学学園の将来を展望し、高等教育機関としてのアカウントビリティを果たし、あわせて「建学の理念」をさらに深化せしめるために、平成16年度から「立正大学ブランドビジョン」の確立のためのプロジェクトを本格的にスタートしました。

本プロジェクトでは、教育理念の視覚化、イメージの刷新を図りつつ、学内のアイデンティティを確立し、大学の社会的ポジションを高めるための取り組みを行っています。

■弊社サービスのご利用状況についてお聞かせください。

【東川様】

現在、立正大学は、大崎キャンパスと熊谷キャンパスの2キャンパスがあります。それぞれのキャンパスの不正アクセス対策として、VSR1000シリーズのファイアウォール機能と、IDS/ADS機能を利用し、また、冗長対策として、ホットスタンバイ機能を導入しています。また、両キャンパス間はVSRにより、VPN接続されているため、暗号化された通信が可能です。

ウェブ、メール環境に関しては、パリオセキュアのパリオウェブ、パリオメールのホスティングサービスを利用しています。学生向けに、Active! mailによるWebメール環境を提供しているため、パリオセキュアのウイルスプロテクションとアンチスパム機能により、個々の学生がセキュリティを意識せず、安心してメール環境を利用できるようにしています。

また、当初導入していたWebメール環境は、使い勝手や機能面より、改善が求められていたため、平成20年9月に、総合的な評価の高いActive! mailによる

Webメール環境への切り替えを行い、より充実したサービスの提供を開始しました。Active! mailは、高機能ながら、直感的な操作ができるため、希望者対象の講習会を実施しているものの、あまり参加人数は多くなく、シンプルな操作性とオンラインヘルプなどにより、学生は、独学ですぐに使いこなしてしまうようです。

立正大学では、全ての学生に対して、入学と同時にメールアカウントを発行し、IDとパスワードを付与しています。学生と教員を併せると、10,000人を優に超える規模となりますが、最近では、授業でのインターネット活用や、メールによるレポート提出など、メールやウェブ以外の用途でインターネットを活用する機会が増えているため、安定した通信環境の維持と、セキュリティ対策の両方に注力した運用を行っています。

■弊社サービスをご導入いただくまでの経緯や、導入に際し重視された点について伺えますか。

【東川様】

インターネットを導入し始めた初期段階

では、ウェブサーバとメールサーバを学内で運用していましたが、運用負担の増加に伴いホスティングへの移行を検討しました。ウェブサイトは、当初、公式サイトと、学部が自前で運用するサイトが個別に公開されていましたが、その後統一フォーマットの公式サイトへと統合する形となりました。

実は、パリオセキュアのホスティングサービスを利用する前は、大手ISP事業者のメールホスティングを利用していましたが、抱えるユーザ数が一万名を超えるため、1アカウントあたりの単価を考慮し、包括的なサービス提供の可能なパリオセキュアのホスティングへの移行が決定しました。

ホスティング事業者の選考については、学内からの要望を、きちんと実現してくれれば良い、というスタンスであったため、事業者の規模や知名度よりも、対応面をより重視しました。例えば、メールに関しては、アカデミック用にフリーで利用できるWebメールなども選択肢としてありましたが、運用サポート、障害時の対応リスク、24時間体制のサポートなど、まだまだ考慮する課題があり、最終候補とは

なりませんでした。

ホスティングサービスに移行して、サーバの管理負担が軽減すれば解決ということではなく、あくまでこちらの希望を的確、迅速に反映してくれるサポート体制が重要視したポイントです。

■弊社サービスのサポート体制についてのご感想を伺えますか。

【杉山 様】

2007年にバリオセキュアのサポート体制に変更がありましたが、変更してからは、よりサポートクオリティの向上を感じました。変更以前は、問合せへの対応やレスポンスに対する要望も一部ありましたが、変更後は、担当者のご協力もあり、

サポートへの満足度が向上しました。

絶対的なユーザ数の多さや、教授から受けた個々の質問への対応などにより、一般的な企業に比べると、サポートへの問合せ件数は圧倒的に多いと思います。学内では、サポートから回答されたメールを一部編集し、問合せへの対応に活用することで、効率化に役立てています。

また、大学では、一般の企業と異なった年間イベントや、長期の休みなどが発生するため、サポート対応も若干、一般企業とは異なる部分もあるかとは思いますが、その辺りもサポート側で吸収された対応を受けていると思います。学内のネットワーク規模も大きいため、切り分けの調査など大変だとは思いますが、う

まく機能していると認識しています。

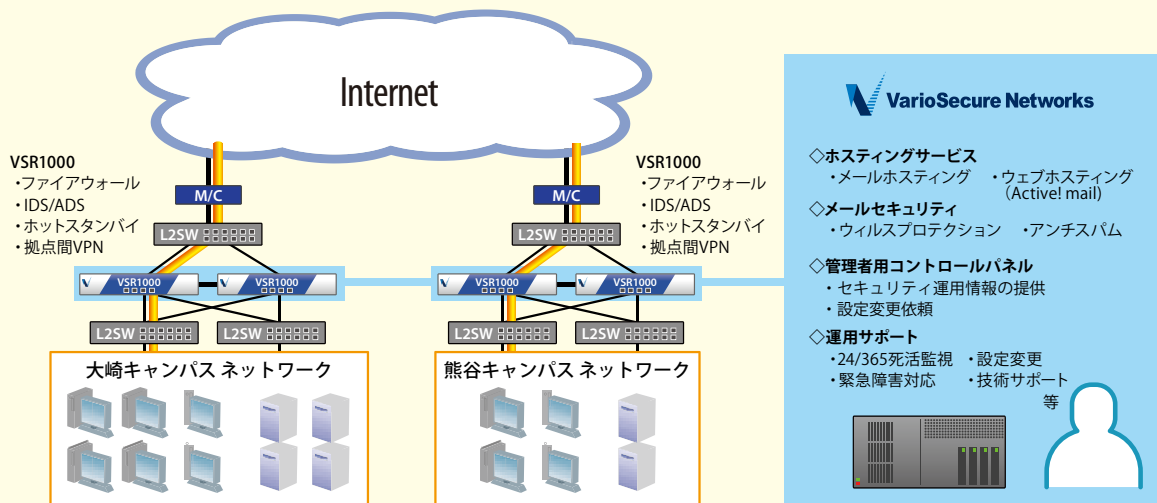
■今後のご希望等について伺えますか。

【杉山 様】

情報化への対応は、企業だけでなく大学でも避けては通れません。立正大学の教育理念を、情報化された新しい社会に対しても継承しつづけるために、学生に向けて、より良いネットワーク環境を提供し続けていきたいと考えています。

ネットワーク環境の安全性を維持するためには、セキュリティ機器よりも運用の体制が重要であると思いますので、運用をより効率的にするサポートや、新サービスの開発など、今後も期待しています。

■VSRマネージドセキュリティサービス提供イメージ図



■ご担当者からのコメント



大崎情報システム課
杉山 晃 様

『絶対的ユーザ数の多い大学のネットワーク運用は、独自のノウハウが求められます。例えばメールの管理を考えた場合、一般的な企業と異なり、学生のメール用途を厳格にルール化することは非常に困難で、ルール化によっては使いにくいメールシステムとなることが予想されます。』

自由度と安全性のバランスを常に意識しながら、学生にとって利用しやすいネットワーク環境を提供し続けるためにも、今後もニーズに合ったサービスやサポートの提供をお願いします。』